

「食と絆」

3年 A.T

先日あるドキュメンタリー番組を見ました。そのドキュメンタリーのテーマは「空腹と非行」。皆さんは物事が良いか悪いか分からなくなるほどの空腹を感じた事がありますか？私は、おなかがすいたと口にする事は一日何回もあります、食べないと死んでしまうような空腹を感じた事はありません。このドキュメンタリーは社会に居場所を失い、非行に走る子供の立ち直りを支えてきたばっちゃんこと中本さんを8年にわたって記録した物でした。元保護司である中本さんが何回も番組内で言っていた言葉、それは「非行の根っこに空腹がある」という言葉でした。三十年前、中本さんはその考えをもとに家でご飯を食べる事が出来ない、非行が目立つ子供達に無料で手料理をふるまい始めました。そうしてみると食べに来た子供達の万引きや、売春などが少しずつ収まっていきました。その非行が収まったという話はみるみるうちに周りに広がっていき、小学校や中学校の先生までもが中本さんの家にご飯を食べに行ったらどうだと、非行に走る子供達に提案するまでになりました。

なぜ誰かと共に食事をする事で子供達の犯罪が減るのでしょうか？私はこの番組をじっくりと見てみると、あることに気づきました。それは、中本さんの家にご飯を食べに来た子供達に中本さんは「何かあったん？」と聞くと、子供達は口をそろえて「何もない」と最初は答えていました。しかし、一緒にご飯を食べていると少しずつ子供達が「今日な」と悩みをうちあけていました。食事を食べる事によって心が落ち着き、自分のために美味しいご飯を作ってくれているんだという考えが信頼関係を作り、悩みを中本さんに話す事によって心にゆとりができ、万引きなどが減っていくのではないのでしょうか？

絆を感じる瞬間は皆さんの中でどんな時でしょうか？旅行へ行った時やテレビを見ている時など、その答えは人によって様々だと思います。私が身近な人や家族との絆を感じる瞬間は、食事をしている時です。なぜなら、食事を通して相手からのメッセージなどが自然に伝わってくるからです。私の家では受験や発表会などの大切な時には、前日に必ずカツ丼が夕食に出てきます。親は、口にはあまり出しませんが、きっとこれを食べて勝負事に勝ってきなさいと私に伝えたかったのだと思います。また、おばが野菜たっぷりのスープを寒い日に作ってくれたのなら、野菜を多くとり、風邪を引かないでほしいというメッセージが伝わってきます。私の家に限らず食が気持ちを伝えてくれる物を考えてみると、チョコレートをバレンタインに渡す事で「好き」と相手に気持ちを伝える事が出来ます。

食というたった一つの事から行事につながったり、メッセージを伝える事ができたりと、食と一つにくくっても、色々な事を考える事が出来ます。今まで毎日三食しっかりと食べて食事が生活の一部になりすぎていたせいか、食事から生まれる絆についても長い間忘れていたので、再度確認する事が出来て良かったです。もし、私が家庭をもったら、メッセージの伝える事のできる食事を作りたいと思います。